

まつど宇宙の学校 1 回目活動レポート

6月9日（日）松戸市青少年会館にて、「まつど宇宙の学校」を開校しました。児童と保護者 30 組が参加。第 1 回目は「ホバークラフトを作ろう」、



空気の力の演示物に興味津々。



完成！

空気の力で
船体を浮か
せ、摩擦を少
なくし、床面



横山さんがホバークラフトの仕組みを説明

を滑るように走行する乗り物を作りました。ku-ma 教材を基本に、講師の横山三郎さんが改良したキットを組み立てます。工作時間が短縮できるよう、あらかじめ船体に両面テープを貼ったり、モーター取り付け台の板片に木ねじの穴をあけたりと、事前準備が入念です。工作開始、約 50 分で完成しました。電池ケースのスイッチを入れると、船体下のスカートのビニール袋が膨らみ、ホバークラフトがすうーっと動き出し、あちこちから歓声が沸き、ホバークラフトが走りまわりました。



走れ、ホバークラフト

■参加者から感想をいただきました。

- 家の中で、作ったホバークラフトを何度も動かし、兄や遊びに来た友だちに自慢していました。
- 大喜びで、家に帰ってもずっと遊んでいました。
- 作成の難易度も、小学校低学年にちょうどよく、自分で作れたことを喜んでいました。カッターやキリをたくさん使う工作は、子供にやらせるのは、ちょっと怖いので、ハサミでできるホバークラフトはとても良かったです。
- 下に穴が大きく開いているのに、空気が抜けずに船が浮くのが不思議でした。作るのは難しかったけど、すいすい走るのが楽しくて嬉しかった。
- とても楽しかったようで何度も自宅で走らせていました。準備がとても大変だったと思います。ありがとうございました。



横山さん自作のホバークラフトが大人気。子供が乗れます。

■スタッフの感想も紹介します。

- 作る説明で、「ここはずれないように慎重に」や「丁寧に」という項目が多かったので、みなさんの真剣なムードが漂う中、出来上がった瞬間の「おおっ！！」という感動の空気感のギャップがすごかったです。走らせると、思った以上に軽快で速くてびっくりしました。

実はあのあと兄（キッズボランティア）のプロペラが折れてしまい、なんとか補修するも、やはり風力が足りず速度が落ちるので手持ちのプロペラに変えました。ところが手持ちのプロペラは大きくて重く、風力も弱くうまくいかず、モーターの台をあげたり、カップを大きくしたり船体を軽くしたり、プロペラをカットしたりいろいろ試して四苦八苦しました。それこそ家族中でやりました。結果として、なんとか走るようになりました。プロペラ変更に伴う補修で、ホバークラフトの走る仕組みや、風の受け方、カップを大きくしすぎて帆になり逆走、下の穴の位置や大きさの関係など、今日のスクーリングを思い出しながら、ありとあらゆるところを調整しました。必要は発明の母というのは言い過ぎですが、とにかくトコトンやったので、ホバークラフトのことがよくわかり、風の流れやプロペラの特性もわかるようになりました。兄にとってかなり勉強になり、やればできる、という自信にもつながりました。

家族中で、ホバークラフトの面白さ、そして横山さんのキットの素晴らしさ！！を実感しました。特に兄は、あれこれ試してみたので、スーッと綺麗に走る、このキットは絶妙なバランスで作られていて本当に素晴らしい、全てに計算されていてとにかくすごい、と感激していました。娘は、楽しい、面白い！で見ているこちらが嬉しくなります。兄は仕組みに興味をもちたり、今日のように考えながら自分であれこれ試している姿をみて、親として見たかった姿が見ることができてわたしは特に嬉しかったです。キッズボランティアで参加させていただけるのは有難いなあと改めて感じました。（大田）

- 横山さんの準備が万全で、全員が成功したのは準備会の成果だと思います。特に大型ホバークラフトの試乗は、大人気でしたね。やはり実感できるって大切だなあと、勉強になりました。

（山地）

- 今回のホバークラフトは横山さんの事前準備のたまもので、参加者全員が製作、走行とも満足していたように感じました。また、多少親御さんの手助けを受けている子供もいましたが、いつもより子供が自分で頑張って製作していたように思いました。（古川）

- まつど宇宙の学校にお世話になって今年で6年目となりました。始めの3年間は参加者として、後半の3年間はボランティアとして参加させていただいております。自分が理科が好きで子どもにも理科を好きになって欲しくて参加しました。今は何事も効率化されてボタンひとつで何でもできる時代、なぜだろう？と疑問を持つ暇もないほど何でも出来てあたりまえの時代です。今回も子どもたちが「おお、すごい！」と感動する姿を見て、体験することの大切さを改めて実感しました。親子ともどもボランティア活動を通して貴重な体験をさせていただきとても感謝しています。（森）